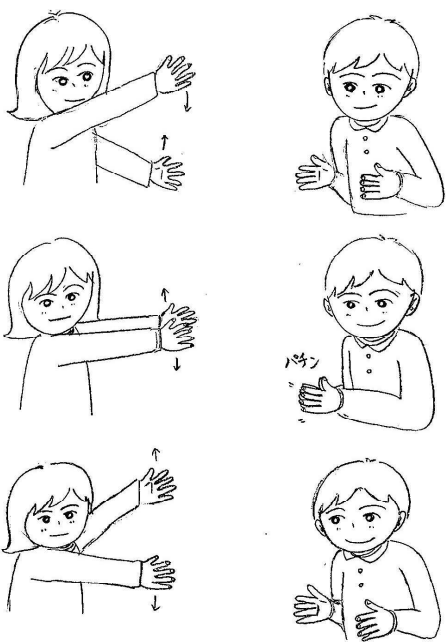


【プログラム4:かさなったら、パン! ~心をあわせて~】

☆ねらい：相手の動きに合わせて手をたたくゲームを通して、途中の経過も見るこ
とが大事であることに気づき、生活に役立てようとする。

キーワードの例	過程が大事	
時 間	5分	
人 数	何人でもできる。	
活動形態	全体（グループごとでもできる）	
準備物	なし	
主な活動	①やり方を聞き、やってみる。 ②振り返りをする。	
気を付けること	○参加者全員が進行役の手が見えるかどうか考える。	
方 法	<p>1 説明を聞く。 《進行役のやり方》</p> <p>①進行役は両手を前に伸ばす。 ②右手を肩の上から下に向かって下げていく。 ③左手は下から、上に向かって上げていく。 ④右手と左手は同時に動かし、これを繰り返す。</p> <p>《参加者》</p> <p>○進行役の左手と右手の手のひらが重なったときに、手をたたく。</p> <p>2 やってみる。 3 振り返りを行う。 「やってみてどうでしたか。」と問いかける。 4 まとめを聞く。</p>	
	<p>手をたたいたときはみなさんしっかり見ていたようだ。それは、途中でどんなスピードになるかわからないからだと思う。 日頃の生活では、毎日同じようなリズムで過ごしていく場合が多い。しかし、「いつもと同じ」と過信してしまうと、ちょっとした変化などを見過ごしてしまうこともある。 毎日が同じようなリズムでも、会話や表情などを通して、変化に気づこうとすることは大事なことだ。</p>	
備 考 (アレンジ等)	○慣れたら、途中でスピードを速くしたり遅くしたりする。 ○参加者は、手をたたく時、「はい」等の声を出すと盛り上がる。	
他プログラムとの 関連	ステップ（中高生期）編：No 7 見えるものしりとり～しっかり見て～	